



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ZOA

上場取引所 東

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏

TEL 055-922-1975

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,440	22.4	124	△9.4	127	△8.9	87	△9.0
2024年3月期第1四半期	1,994	△15.3	137	0.4	139	0.2	96	0.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	70.03	-
2024年3月期第1四半期	77.09	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,104	2,728	53.5
2024年3月期	5,404	2,706	50.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,728百万円 2024年3月期 2,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	58.00	58.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	0.00	-	58.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,300	1.7	255	2.4	260	2.8	180	1.6	143.71
通期	9,000	4.7	500	19.3	510	19.8	350	19.4	279.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	1,454,000株	2024年3月期	1,454,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	200,767株	2024年3月期	200,767株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	1,253,233株	2024年3月期1Q	1,250,600株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善は進んでいるものの、円安や原油高を背景とした物価の高騰により、個人消費については持ち直しに足踏みがみられる状況が続いております。

このような状況下で当社は、主力の小売事業におけるパソコン事業に関してはコロナ禍で需要の高かったノートパソコンが反動減で販売が低迷しました。通信販売においてはバイク用品が好調に推移しており、売上高は前事業年度を上回る実績となりました。ただし、店頭販売に比べて収益性の低い通信販売の構成比が高まったことで粗利率が低下し、利益面では前事業年度を超えることができない状況となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績については、売上高2,440,256千円(前年同期比22.4%増)、経常利益127,535千円(前年同期比8.9%減)、四半期純利益87,764千円(前年同期比9.0%減)となりました。

売上高が前事業年度を上回る状況を踏まえて、仕入の強化を実践して収益性の向上を図り、利益の改善に取り組んで参ります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. 小売事業

小売事業全体の売上高は2,006,594千円(前年同期比3.1%増)となりました。各事業の実績は次のとおりであります。

(パソコン事業)

パソコン事業の売上高は971,619千円(前年同期比12.3%減)となりました。

パソコン事業においては、前事業年度において好調だったモバイルパソコンが価格高騰と商品不足の影響を受けて販売が減少しました。また、eスポーツ向けのゲーミングパソコンの販売は横ばいで推移しているものの、前事業年度に比べると爆発的な人気商品ではなく、一般的な商品として定着している状況であり、売上高は前事業年度を下回る実績となっております。

また、当社の収益の柱でもありますサポートに関しては、パソコン購入者からのサポート依頼が前事業年度から持続しており、パソコン販売時のサポート依頼受付率は約70%を維持しております。

その他、当事業年度よりお客様のご不要となったパソコンを引き取り、記憶媒体の入れ替えによるデータ消去、OSの入れ替え、クリーニング等を施した再生パソコンの販売を開始いたしました。パソコンの本体価格が高騰する中、安価な再生パソコンには一定のニーズがあり、販売開始当初より高い販売実績を上げております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の実績としましては、パソコン本体の販売減少が大きく影響したため、売上高は前第1四半期累計期間よりも減少しました。

(バイク事業)

バイク事業の売上高は66,076千円(前年同期比8.2%減)となりました。

バイク事業においては、店頭での品揃えでは限界があり、商品展開に制約の少ない通信販売へシフトしている傾向が続いておりますので、店頭販売は減少傾向にあります。ただ、店頭販売を行っていることが通信販売における購入時の安心感となっているため、店頭販売も継続して取り組んで参ります。

(インターネット通信販売事業)

インターネット通信販売事業の売上高は968,898千円(前年同期比26.4%増)となりました。

インターネット通信販売事業においては、特にバイク用品の伸びが顕著で、前年同期比34.1%増加と通販全体の実績を押し上げました。

また、取り扱いを拡大した家電製品の販売も好調に推移しており、特に電子レンジや炊飯器等の調理家電の売上高が大幅に伸びております。

その他にもVRゴーグルやポータブルゲーミングPC等の新たなカテゴリの商品も取り扱いを拡大しており、掲載アイテムを増やすことで更なる売上拡大に取り組んでおります。

2. 不動産事業

不動産事業の売上高は433,661千円(前年同期比792.3%増)となりました。

不動産事業においては、当第1四半期累計期間の短期間で4件の物件販売を実施できたことで、前年同期に比べて大幅に実績を伸ばしました。更なる売上拡大を図るために、物件調達の強化に取り組んで参ります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

・資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて299,916千円減少し、5,104,489千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が169,136千円増加し、売掛金が203,939千円、商品が54,201千円、販売用不動産が249,807千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて321,688千円減少し、2,375,863千円となりました。その主たる要因は、買掛金が207,841千円、長期借入金が114,166千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて21,772千円増加し、2,728,626千円となりました。この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は53.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,016	929,153
売掛金	563,686	359,747
商品	1,949,628	1,895,426
販売用不動産	313,970	64,163
その他	164,989	161,063
貸倒引当金	△1,341	△2,946
流動資産合計	3,750,951	3,406,608
固定資産		
有形固定資産		
土地	896,393	896,393
その他(純額)	182,678	177,111
有形固定資産合計	1,079,072	1,073,505
無形固定資産	15,661	14,286
投資その他の資産	558,720	610,089
固定資産合計	1,653,454	1,697,881
資産合計	5,404,406	5,104,489
負債の部		
流動負債		
買掛金	774,698	566,856
1年内返済予定の長期借入金	497,966	470,479
未払法人税等	56,639	43,710
賞与引当金	32,932	14,052
契約負債	289,927	285,164
その他	153,789	189,544
流動負債合計	1,805,954	1,569,807
固定負債		
長期借入金	780,098	693,419
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	107,366	108,503
固定負債合計	891,597	806,055
負債合計	2,697,551	2,375,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	2,294,884	2,309,961
自己株式	△262,749	△262,749
株主資本合計	2,687,874	2,702,951
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,979	25,674
評価・換算差額等合計	18,979	25,674
純資産合計	2,706,854	2,728,626
負債純資産合計	5,404,406	5,104,489

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,994,329	2,440,256
売上原価	1,412,488	1,841,632
売上総利益	581,840	598,624
販売費及び一般管理費	444,007	473,778
営業利益	137,832	124,845
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	1,527	1,527
受取手数料	1,526	1,487
その他	0	752
営業外収益合計	3,053	3,772
営業外費用		
支払利息	968	1,083
営業外費用合計	968	1,083
経常利益	139,917	127,535
税引前四半期純利益	139,917	127,535
法人税等	43,504	39,770
四半期純利益	96,413	87,764

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	8,063千円	7,741千円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,945,729	48,599	1,994,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,945,729	48,599	1,994,329
セグメント利益	122,685	15,147	137,832

(注)セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,006,594	433,661	2,440,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,006,594	433,661	2,440,256
セグメント利益	52,726	72,119	124,845

(注)セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。